

# 修飾ヌクレオシド測定法開発

助教・永芳 友

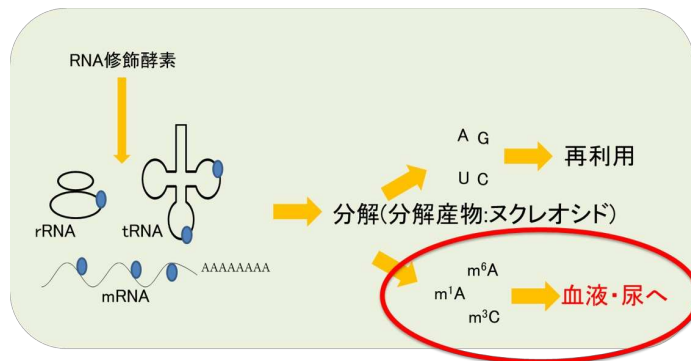
大学院生命科学研究部 基礎系 生体機能病態学分野 総合分子医学講座

## ▶ 研究内容

### 【背景・目的】

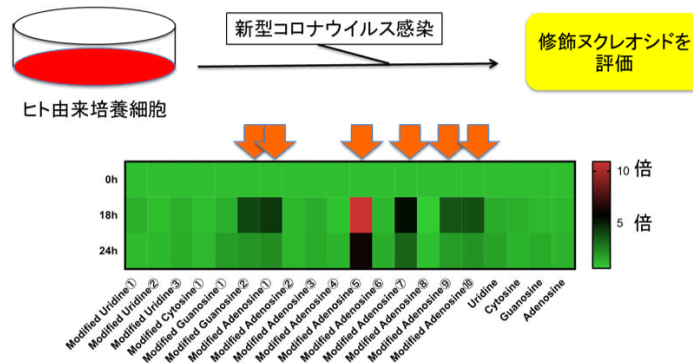
ある疾患における既存検査の代替法、新たな診断法として、血清や尿に排出される修飾ヌクレオシドを測定する方法を開発し、新たな検査パッケージを確立する。

### 【研究概要】

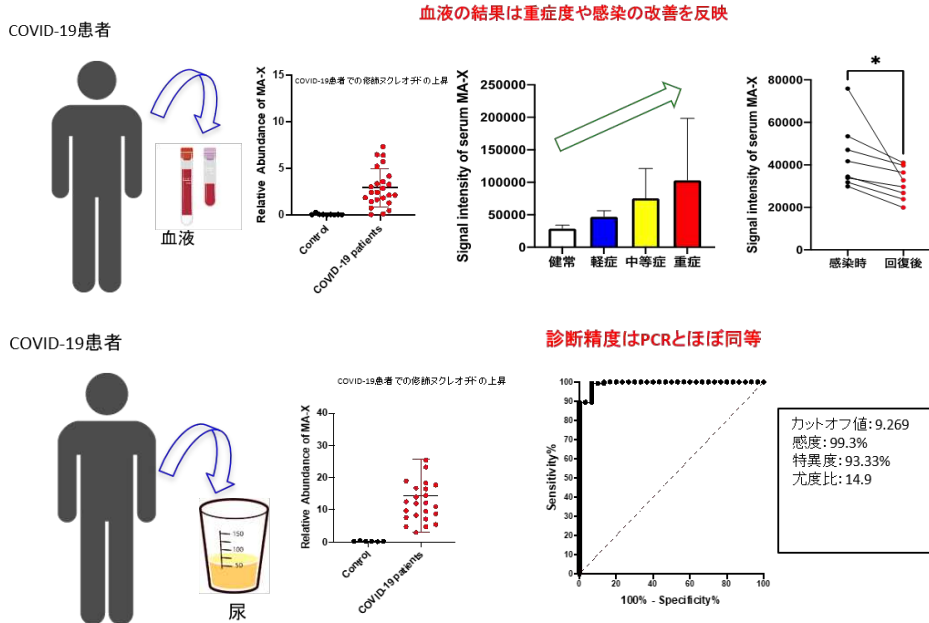


この部分を医療現場に応用したい

従来法の問題点	開発手法
<p>① 検査試料にウイルスが存在する (医療従事者の感染リスク:高い) ② 迅速に結果が出ない ③ 重症度や治療効果がわからない</p>	<p>感染リスクがない 血液や尿 約0.1mL</p> <p>質量分析器で新型コロナ 特異的修飾ヌクレオシド を同定</p> <p>PCRとは異なる原理で</p> <p>① 検査試料はウイルスフリーで安全 (医療従事者の感染リスク:低い) ② 新型コロナ感染を検出 ③ 重症度や予後予測も可能</p>



## 6種類の候補物質を同定



### ▶ アピールポイント

疾患と修飾ヌクレオシドとの関連性を解明することで、新たな診断のシステムの開発や既存診断の改良など様々な用途に活用が可能。

### ▶ 参考資料

Nagayoshi Y et al., Biomolecules 2022, 12(9), 1233

### ▶ キーワード

修飾ヌクレオシド 新型コロナ 診断 血液 尿 modified nucleoside Coronavirus disease diagnosis blood urine 医歯薬学領域 内科系臨床医学 腎臓内科学